

港区立港陽小学校
令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	・「は」「を」「へ」や点や丸、かぎかっこ、拗音、促音、長音の使い方が定着していない。 ・語彙が少なく、言葉の意味や使い方における理解が低い。 ・読み手に伝わりやすいように、文章全体の構成を考えて書く力が低い。
社会	・方位や地図記号、日本や世界の国土の様子など地理の単元で知識、理解の定着が難しい。 ・児童にとって身近な話題でない学習単元においての関心・意欲が低い。 ・資料から読み取ったことをもとに、自分の考えをノートに書いたり、多面的に考えながらまとめたりしていくことが難しい。
算数	・文章問題の題意を理解し、正確に解く力に課題がある。 ・基礎的な知識及び技能の定着に差がみられる。 ・身につけている知識や技能を活用し、図や言葉、式で表現することに課題がある。
理科	・予想や考察で、自分の考えを文章化する力に課題がある。 ・考察の場面で、実験結果から学習問題に対応する結論を論理的に導き出す力に課題がある。 ・実験・観察は意欲的に行っても、知識として定着していない単元がある。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・発達段階に即した言葉や表現の理解。 ・相手や目的、意図に応じ筋道を立てて説得力のある文章を書くことができる力。	・基礎基本の時間や授業時間に、分からない言葉を国語辞典で調べさせる習慣をつける。 ・基礎基本の時間に漢字ミニテストだけでなく、語彙・文法・文章の書き方の練習をする時間を確保する。 ・読む相手や書く目的を具体的に設定したり、字数や要約など条件を課したりして、自分の考えを書く機会を定期的に設ける。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	・地域や地理的環境、現代社会の仕組みや働きなどの社会生活についての理解。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。 ・考えたことや判断したことを適切に表現する力。 ・よりよい社会を考え、主体的に問題解決しようとする態度。	・授業や単元の終わりには大切な語句やポイントを確認し、知識の定着を図る。確認のためのワークシートやテストを取り入れる。 ・ペアやグループ学習の時間を設定し、資料から読み取ったことや考えたことを交流し、多角的な視点や考え方を得られるようにする。 ・調べる学習や学習のまとめでは、社会的事象の見方・考え方の視点を与え、それに基づいてまとめられるようにする。 ・新聞やニュースから時事的な問題を取り上げ、社会的事象に興味をもたせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	・既習事項を活用して、図や式、言葉で考えを表現する力。 ・問題を主体的、対話的に解決し、深い学びにつなげる力。	・東京ベーシックドリルやまなびポケットを活用し、基礎・基本の力を身に付けられるようにする。 ・児童に合わせた課題内容を考えたり、適応問題を繰り返し解かせたりするなどきめ細かく指導する。 ・タブレットの共有ツールを活用し、対話的な学習を増やし、友達の考えを取り入れながら自分の考えを深めることができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・自然の事物・現象の性質、規則性の理解。 ・問題解決の力。 ・自然の事物・現象に関わろうとする態度。 ・他者と関わりながら、粘り強く問題解決する態度。	・問題解決的な学習過程に繰り返し取り組む。各学年の重点指導項目を意識して指導し、問題解決の力を養う。 ・自分の考えをノートに記述したり、他者と話し合ったりする言語活動を多く取り入れる。 ・実験・観察の目的を明確にして、知識や理解につなげる。 ・プリント学習で知識の定着を図る。 ・実験・観察や意見交流の場面で ICT を効果的に活用する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	・自分自身や身近な人々、社会及び自然の良さに対する理解。 ・自分と社会や身近な人々、自然との関わりについて考えを表現し、自ら学ぶ態度。	・友達や地域の人々との関わりに重点をおいた活動を取り入れる。 ・書いたり読んだりする力や伝え合う能力を伸ばせるよう意欲を高める。その為に児童の気づきや思いを表現しあう活動や場を授業の中に設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能。 ・曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴く能力。	・発達段階に応じて、興味・関心をもって取り組むことができるようにする。遊びながら歌う活動や体の動きを伴った活動などを効果的に取り入れる。 ・旋律を口ずさんだり、音楽に合わせて体を動かしたりするなどの活動を取り入れ、音楽を全体にわたって味わって聴く楽しさを感じ取れるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	・造形的な特徴の理解及び材料や用具を活用し表す能力。 ・具体的な色や形を多角的にとらえ、自分自身の表現を深める能力。	・発達段階に応じた適切な指導計画のもと、個に応じた指導を充実させ、常に安全に配慮して指導を行う。 ・完成した作品だけでなく、途中段階においても対話を通して作品の良さを具体的に見出し、造形的な視点を広げ、制作、鑑賞への意欲を高める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 ・自分と家族などとのかかわりを考えて実践できる喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	・基礎的、基本的な知識が身に付くように、調べたことや実践したこと等を ICT も活用しながら発表、共有する場を設定する。 ・基礎的、基本的な内容は、繰り返し練習させたり、児童同士で教え合う場を設定したりする。 ・日常生活を振り返り、問題を見出し、課題を設定して考えられるように、学習カードやワークシートを用いて学習を進め、実践する機会を設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	・主体的に運動に取り組む態度。 ・課題に向けて協力して、学ぶ態度。 ・自分の心身の健康について進んで考え、健康的に生きていく力。	・タブレットを利用し、自己の課題を明確にしたり成長に気づかせたりせる。 ・スモールステップで個に応じた場の設定をし、課題にあった練習が取り組めるようにすることで「できる」体験を増やす。 ・対話的な学習活動を増やし、仲間と協力して課題を解決することができるよう授業を工夫する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	・英語に親しみ意欲的に活動に取り組む態度。 ・学習した表現を生かす力。	・発話量を増やし、教師が主体的に指導にかかわっていくことで、英語に対する不安感を取り払い、楽しさを味わわせる。 ・既習の表現を生かした言語活動を設定し、身に着けた表現を使う機会を確保する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	・自分と同じ考えや違う考えを幅広く受け止め、新たなことに気づいたり、考えに自信をもったりしながら、自分の生き方を考える力。	・適宜ICTを使ったり、机の配置を工夫したりしてペアトークやグループトークを積極的に行い、考えを広げたり深めたりする。 ・ねらい(児童に考えさせたいこと)を明確にした発問をし、児童が考えをもったうえで話し合いに参加できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	・学級の課題を見出し解決に向けて話し合い活動を充実させる。 ・自分の役割に責任をもって仕事や活動に取り組む。	・自分の考えをもち、話し合いに参加できるよう身近なものを議題にし、話し合い活動の経験を増やしていく。 ・話し合いの方法を型で示し、見通しをもって適切に話し合いができるよう指導する。 ・自信をもって取り組めるよう、できたことを称賛する。 ・スモールステップで明確な到達目標を示す。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	・ICT機器を効果的に活用して学習に取り組む力を高める。 ・児童自身で見通しをもって学習に取り組む力。	・学年ごと、よりICT機器を効果的に活用できるように目標を立て、それに合わせてICTの活用方法(ローマ字入力やアプリの活用など)を指導していく。 ・「課題設定」→「解決方法の選択」→「まとめ」→「考察」→「新たな課題の発見・設定」という問題解決的な手順で学習を進めていく。